



景観重要建造物をめぐる

盛岡の景観重要建造物は、城下町の名残や近代文化の影響を受けたものが多くあります。それぞれにどのような特徴があるのか探してみましょう。

歴史薫る重厚な土蔵造り 憩いの場として再生 浜藤の酒蔵

構造：土蔵造り
延べ床面積：528.5平方メートル
建築年代：江戸末期から明治初期
所在地：鉾屋町10-5

開館時間
9時～19時（最終入場18時半）
休館日／第4火曜日
（祝日の場合は翌日）と年末年始
【問】もりおか町家物語館 ☎654-2911

浜藤ホールとしてイベントなどで使われている

江戸末期から明治初期にかけて建築された建造物で、市内でも1、2を争う大きさの土蔵であることから、鉾屋町かいわいが古くから水に恵まれ酒造りも盛んだったことを知ることができます。市民による保存活動を受け、付近の建造物と併せて、もりおか町家物語館として改修し、現在は集会施設として利用することができます。



もりおか町家物語館
盛岡 なおと 館長

特徴として内部にある酒蔵時代からの大きな梁を使用しています。建築年代の古さからも、盛岡城の部材を使用したものではないかともいわれています。また、

酒蔵だけではなく、盛岡町家の特徴を残した母屋などの関連施設も見るができます。季節によって、黒川さんさの門付けなど地域で継承されてきた文化や市井の暮らしに触れることができます。ぜひ、一度訪れてみてください。

市は、豊かな自然と歴史的環境に調和した盛岡らしい景観の形成を目指して、都市景観シンポジウムなどを開催しています。



令和7年度 都市景観賞を決定！

ミナ ペルホネン モリオカ
コート ヨキ／マトカ
場所：鉾屋町



ミナペルホネン モリオカ
コート ヨキ／マトカ
場所：北飯岡一

市中央公園・ビバテラス（フェーズ1）
場所：本宮字蛇屋敷ほか

近代和風邸宅から望む四季折々の庭園

南昌荘



南昌の間

構造：木造2階建瓦葺 延べ床面積：723.96平方メートル
建築年代：明治18(1885)年、明治43(1910)年以降改築
所在地：清水町13-46

開館時間
4月～11月：10時～17時 12月～3月：10時～16時
休館日／月・火曜（月曜が祝日の場合は開館）と年末年始
入館料／中学生以下200円、高校生以上400円
【問】南昌荘 ☎604-6633

さまざまな著名人と縁を持つ建造物で、原敬夫妻が滞在したことや伊藤博文が盛岡に訪問した際の園遊会の会場として利用されたこともあります。内部は庭園を眺めるように縁側に設置されており、中2階の「南昌の間」の床は庭園の樹木が映り込み、美しい景色を見ることができます。

南昌荘を管理している
いわて生活協同組合
牧野 典子さん



所有者が次々変わる中で建造物もさまざまな増改築をしてきました。中2階の「南昌の間」は、元々は畳でしたが、戦後に進駐軍に接収され、床張りになりました。縁側には、座椅子やテーブルも設置し本を持ち込んで過ごす人もいます。作品展やコンサートなどの催し、結婚式、七五三、成人式の記念撮影にも使われています。

赤瓦と銅板葺きの緑青が美しい 隠れた紅葉スポット 武田邸



構造：木造2階建入母屋造瓦葺
延べ床面積：404.72平方メートル
建築年代：昭和25(1950)年
所在地：長田町19-1

公開日時
11月8日(土)・9日(日)・15日(土)・16日(日)
13時～16時
【問】景観政策課 ☎601-5541

他の景観重要建造物よりも比較的建築年代が新しく、昭和初期に見られた施工技術を駆使して建てられた建造物です。特に、雨どいは銅板細工で、建具は全て木製で作製しているなど、現代の住宅には見られない意匠を残しているのが特徴です。約1983平方メートルある庭園は、武田邸よりも前に造られたものであり、ツツジやイチヨウなど季節ごとの風景を楽しむことができます。

12/14日 まで クラウドファンディング型 ふるさと納税実施中

景観重要建造物は、人々の暮らしやまちの歴史を伝える大切な建造物ですが、老朽化や修繕費の高騰により整備が困難な状況です。この建物の景観を次代に継承するため、クラウドファンディング型ふるさと納税を通じて「武田邸」や「原敬生家」の雨漏り修繕などを進め、未来の利活用につなげたいと考えています。皆さんの支援をお願いします。

武田邸は
こちら

原敬生家は
こちら

都市景観シンポジウム

11/15(土) 中央公民館(愛宕町)
13時半～16時半

都市景観賞表彰式のほか、『てくり』発行のまちの編集室編集者による講演や、「暮らしの中の景観」をテーマにしたパネルディスカッションをします。ご来場をお待ちしています。

市長コラム

盛岡に多くの景観重要建造物があるのは、市民の皆さんと協力し、全国に先駆けて市条例による建造物の保存に取り組んできたことが背景にあります。こうした取り組みが、現在のまちなかに歴史的な建造物が溶け込んでいる

盛岡らしい景観につながっています。景観重要建造物から地域に残る歴史や文化を探ることで、盛岡の魅力を再発見できるかもしれません。ぜひ、季節の移り変わりを感じられる晩秋の盛岡を散策してみてください。

盛岡市長 内館 茂

